

日南市公共施設等総合管理計画
(個別施設計画)

保健施設編

令和2年3月

北郷町地域振興センター
南郷町地域振興センター

1. 対象施設

平成29年度末現在、保健施設は3施設で、延床面積の合計は2,103.14㎡となっております。

No.	施設名	所在地	総床面積 (㎡)	棟数
1	北郷保健センター	日南市北郷町郷之原乙2010	503.75	1
2	北郷福祉センター	日南市北郷町郷之原乙2006-1	599.95	1
3	南郷健康福祉センター	日南市南郷町中村乙7051-171	999.44	1
合計			2103.14	3

2. 計画期間

令和2年（2020年）度から令和8年（2026年）度までの7年間とし、進捗状況の結果等を踏まえ、適宜、計画を見直すものとします。

3. 対策の優先順位の考え方

(1) 施設の役割

北郷保健センターは、市民の健康管理及び増進を図ることを目的として設置しています。

北郷福祉センターは、市民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ることを目的として設置しています。

南郷健康福祉センターは、市民の保健及び福祉を増進し、市民生活の向上を図ることを目的として設置しています。

(2) 現状と課題

北郷町総合支所は、建築後50年以上が既に経過しており、老朽化が進行し、十分な耐震性能が得られない状況であったため、平成28年12月から北郷町総合支所の機能を北郷保健センターへ一時移転して業務を行っています。

北郷福祉センターにつきましては、日南市社会福祉協議会が指定管理者となり施設の維持管理に努め、無料弁護士相談や人権相談、また、北郷町民生委員・児童委員協議会の定例総会などで利用されています。しかし、建築後25年が経過しており、施設設備等の故障が多くなってきました。

南郷健康福祉センターにつきましては、本庁舎が保健福祉総合センターへ機能移転したことにより、こども課の健診業務等での利用が増加しております。また、日南市社会福祉協議会南郷支所の相談事業等でも利用されています。特に、トレーニング室は、市内全域から利用者がおり、1日平均50名を超える盛況ぶりであります。

(3) 今後の施設の考え方

北郷保健センターにおきましては、北郷町総合支所の機能を一時移転している現在の状況において十分な行政サービスが行われており、また、旧北郷町総合支所庁舎が「道の駅」の建設に伴い解体されるため、今後も北郷町地域振興センターとして利用することとします。

北郷福祉センターにおきましては、今後も指定管理者による適正な維持管理運営に努めます。

また、農村環境改善センターが「道の駅」の建設に伴い解体されるため、避難場所や自治会の会議等にも利用することとします。

南郷健康福祉センターにおきましては、南郷地域における健康、福祉、老人福祉の拠点として位置づけ、引き続き適正な管理運営を行います。

4. 施設の状況等

(1) 施設性能

No.	施設名	建築年度	経過年数	構造	耐用年数	残寿命年数 (年)	耐震		大規模改修	
							診断	改修	年度	改修
1	北郷保健センター	H元年度	28	RC	50	22	新	新		
2	北郷福祉センター	H4年度	25	RC	50	25	新	新		
3	南郷保健福祉センター	H20年度	9	S	38	29	新	新		

(注1)平成29年度末現在の状況について記載

(注2)複数の建物からなる施設については、主たる建物について記載

※構造: W=木造、RC=鉄筋コンクリート、SRC=鉄筋鉄骨コンクリート、S=鉄骨、LGS=軽量鉄骨、CB=コンクリートブロック

※残寿命年数: 耐用年数 - 経過年数〔基準年度 - 建築年度〕

※耐震診断: 新=新耐震基準(建築年がS57年以降)、済=旧耐震基準(建築年がS56年以前)であるが耐震診断実施済み、

未=旧耐震基準で耐震診断が未実施、不=旧耐震基準であるが新耐震基準で建てられているため、耐震診断不要

※耐震改修: 新=新耐震基準、済=耐震改修が実施済み、未=耐震診断未実施又は耐震改修が必要だが未実施

不=旧耐震基準であるが耐震改修が不要

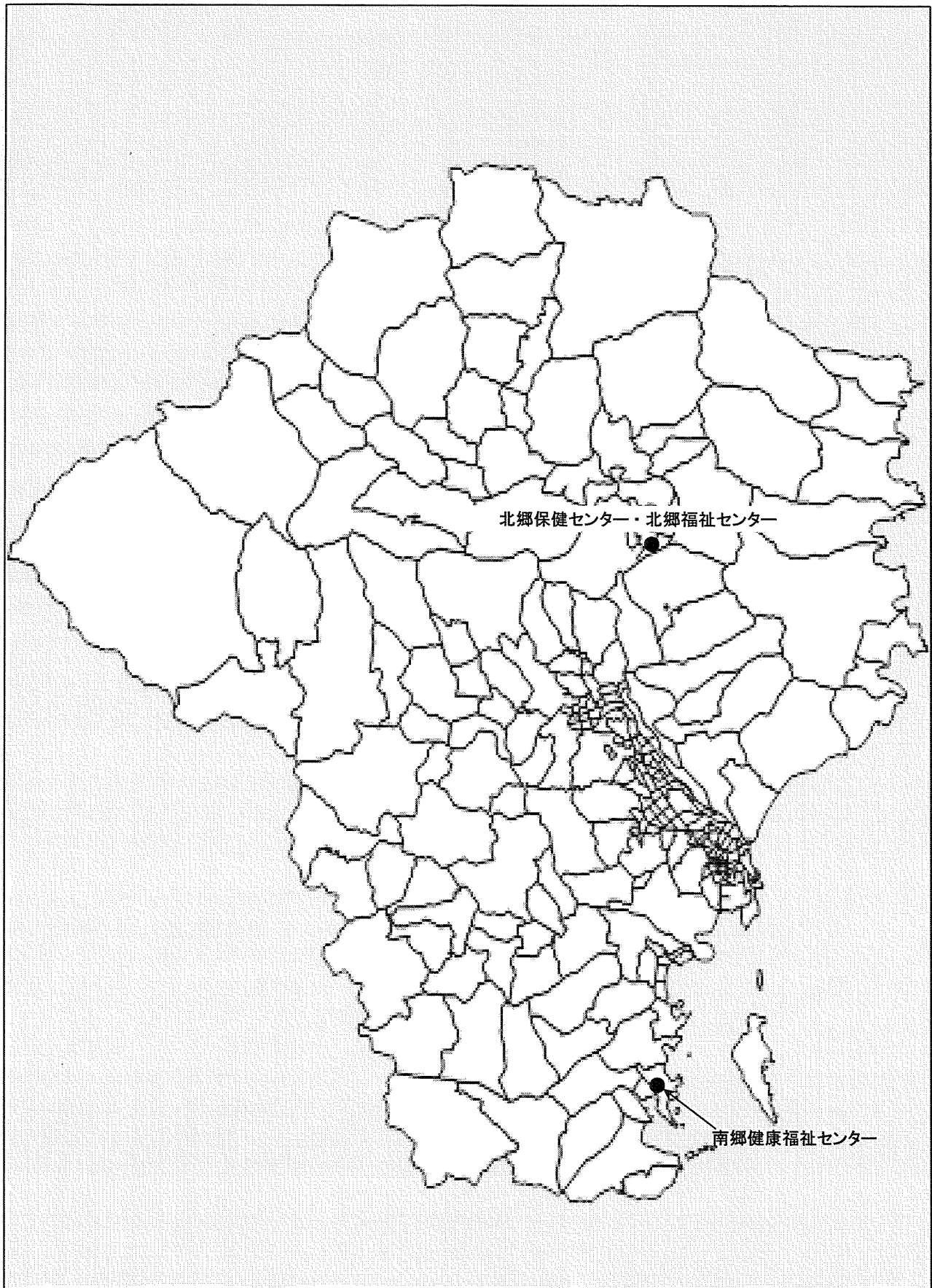
※大規模改修: 屋=屋根改修、屋上防水改修、壁=外壁改修、他=設備改修、内装その他改修

(2) 利用・運営状況

No.	施設名	総床面積 (㎡)	稼働日数 (日)	利用者数 (人)	年間コスト (円)	㎡当たりコスト (円)	1日当たり利用者数(人)
1	北郷保健センター	503.75	—	—	—	—	—
2	北郷福祉センター	599.95	244	1,114	1,682,875	2,805	4.6
3	南郷健康福祉センター	999.44	357	25,056	9,539,852	9,549	70.2

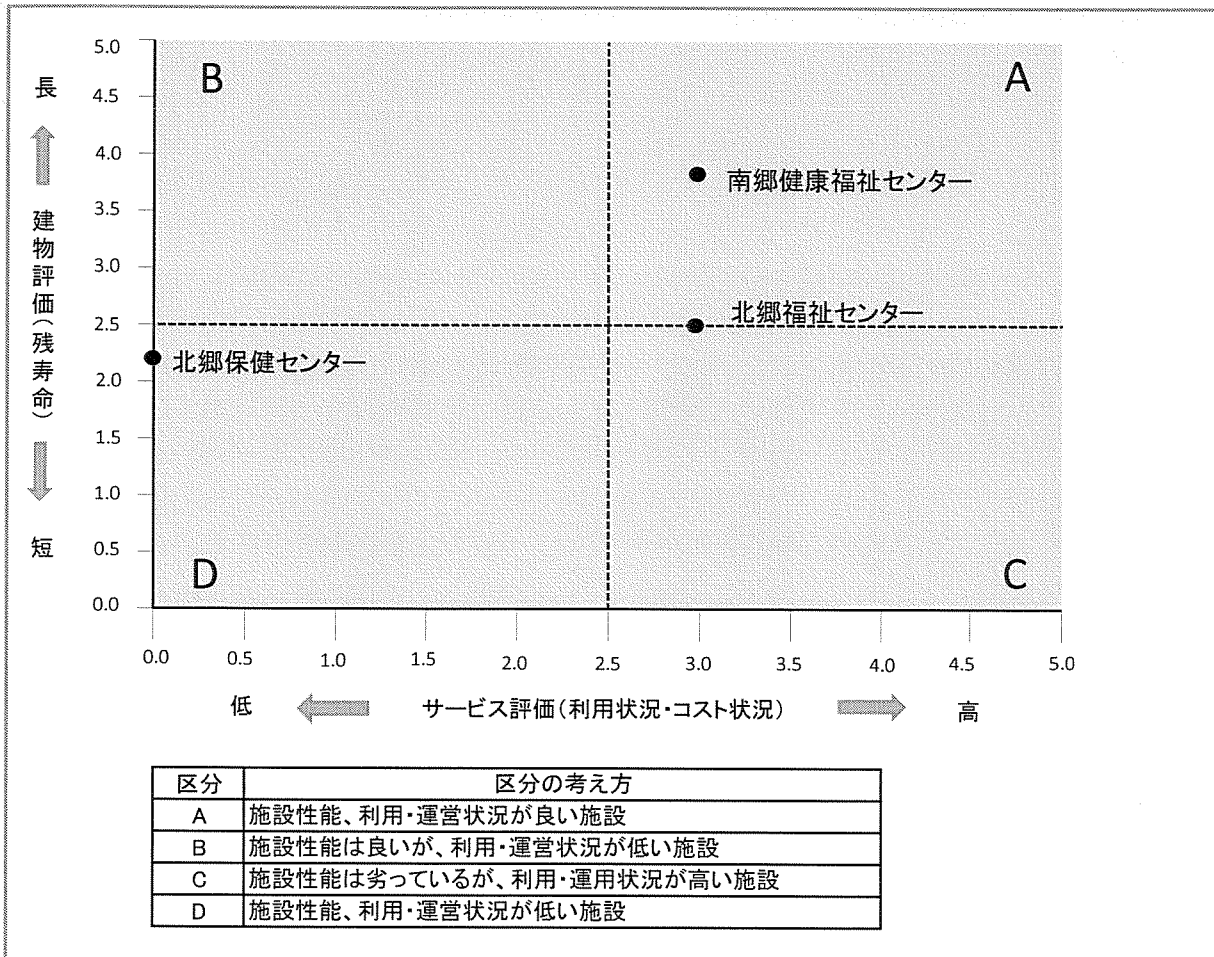
(注)稼働日数、利用者数、年間コストは、過去3年間(H27～29年度)の平均を記載

5. 施設配置状況



6. ポジショニング分析(施設評価)結果

各施設の施設性能(ハード面)と利用・運営状況(ソフト面)の重要な2つの指標について、数値化し、施設の特徴や傾向を4つの区分(A、B、C、D)に分けて表したものです。



【施設評価の考え方】

縦軸: 建物評価の点数

○残寿命年数

施設の残寿命年数を計算し、建物の評価点を出す(5段階評価で5点満点)。マイナス評価の場合は、0点とする。

〈計算式〉

耐用年数 - (基準年度(2017年度) - 建築年度) = 残寿命年数

(残寿命年数 / 耐用年数) × 5点 = 残寿命年数の点数

例)平成4年度(1992年度)建築された、鉄筋コンクリートの庁舎の場合

50(耐用年数) - (2017 - 1992) = 25 (残寿命年数) / 50(耐用年数) × 5点 = 2.5点(残寿命年数の点数)

横軸: サービス評価の点数

○㎡当たりのコスト

㎡当たりコストが最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。不明の場合は0点とする。

○1日当たりの利用者数

1日当たり利用者数が最も多い施設を5点、最も少ない施設を1点とし、その他の点数は数値に応じて比例配分する。不明の場合は、0点とする。

サービス評価の点数 = (㎡当たりコストの点数 + 1日当たりの利用者数の点数) × 1/2

※過去3年間(H27~29年度)の平均により算定。

7. 適正化計画

現状や課題、今後の考え方を踏まえ検討した適正化計画は次のとおりです。

(1) 今後の方針

No.	施設名	方針
1	北郷保健センター	北郷町総合支所庁舎が「道の駅北郷」建設に伴い解体されるため、今後も継続して北郷町地域振興センターとして利用する。
2	北郷福祉センター	今後も指定管理者による維持管理運営を行う。また、今後は、自治会等の会議や災害時の避難所となっていた「農村環境改善センター」が解体されるため、自治会等の会議や避難所としても利用する。
3	南郷健康福祉センター	南郷地域における健康、福祉、老人福祉の拠点として位置づけ、引き続き適正な管理運営を行う。

(2) 計画期間内(7年)の対策内容及び対策費用

(単位:百万円)

No.	施設名	棟名称	項目	計画期間						
				R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
1	北郷保健センター	診療所	対策内容							
			対策費用							
2	北郷福祉センター	本館	対策内容							
			対策費用							
3	南郷健康福祉センター	健康福祉施設	対策内容							
			対策費用							